

福井大学研究シーズデータ

名前・学部・学科等	打波大 福井大学医学部第二外科				
研究情報の分類	シーズ	特許	新製品	分析/解析	調査
研究分野の分類	13	以下の18項目から一つ選び番号を左欄に記入する。 1.物理系 2.エネルギー系 3.化学系 4.バイオ系 5.環境系 6.海洋・宇宙系 7.交通系 8.機械系 9.材料系 10.電子・電気系 11.情報系 12.建築・建設系 13.医学系 14.健康・保険系 15.看護・福祉系 16.農業・林業系 17.水産・畜産系 18.その他			
重点研究分野への該当	I T	ナノ	バイオ	環境・エネルギー	その他
キーワード(5個以内)	虚血再灌流障害	フリーラジカル	活性酸素	癌の転移	接着分子
研究情報の名称	肝虚血再灌流障害と大腸癌肝転移				
<p>概要</p> <p>われわれは肝の虚血再灌流の病態に関する研究を行っている。現在までに肝虚血再灌流障害にはサイトカインやフリーラジカルが関与していること、そして虚血再灌流障害を軽減するには一回の連続血行遮断より間歇的血行遮断が有用である事を明らかにした。さらに、肝虚血再灌流と癌転移との関係についての研究を行っている。接着分子である E-selectin が肝虚血再灌流後に血管内皮上に高発現すること、間歇的肝血行遮断は大腸癌肝転移を低減できることを報告した。現在は、虚血再灌流後に産生されたフリーラジカルが大腸癌肝転移に及ぼす影響についてスカベンジャーを用いて検討を行っている。また、血管新生因子である VEGF が肝虚血再灌流後に血中・肝組織中に発現する事を確認しており、VEGF 受容体を持つ癌細胞を接種すると肝虚血再灌流後に転移巣が増大する事を報告中である。さらに、抗接着・接着両方の性質をもつ MUC1 蛋白が癌転移に与える影響について検討を行っており、MUC1 遺伝子を導入し高発現させた癌細胞は肝転移を起こしにくいことを報告した。</p>					
<p>グラフィカルな社会還元までのチャート</p> <pre> graph LR A[肝虚血再灌流障害] -- シーズ --> B[間歇的血行遮断] C[担癌状態] -- シーズ --> D[活性酸素消去剤] B -- シーズ --> E[術後肝障害の抑制] D -- シーズ --> E E -- シーズ --> F[接着分子 血管新生因子] F -- シーズ --> G[術後肝転移の抑制] H(担癌患者の遠隔転移を抑制できる) </pre>					
関連している企業・大学・団体等					
関連する特許 1 件					
関連する論文 1 編					